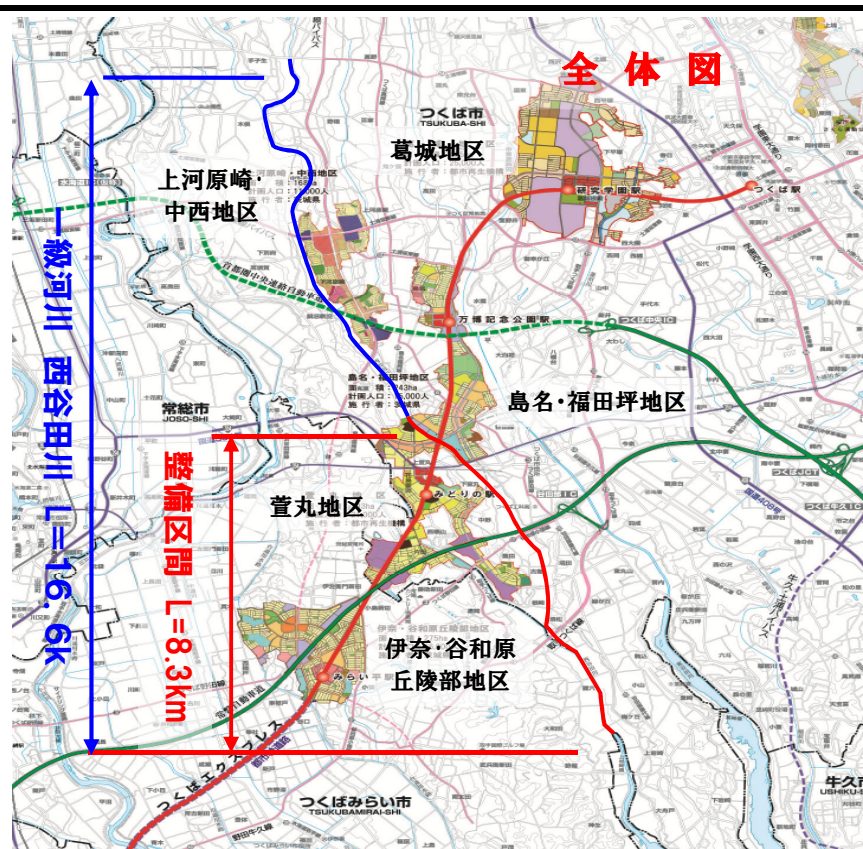




今月、関東甲信地方を襲った暴風雪などの影響により、各地で甚大な被害が発生しました。被害にあわれました皆様にご心からお見舞い申し上げます。

今回のかから版では、河川課で行っている河川改修事業と酒沼広浦の湖岸復元に向けての取り組み、県内で活躍されています河川愛護団体の紹介をします。

今後も、皆様からのご質問やご意見を伺いながら編集してまいります。お願いいたします。



河川課の事業のひとつ河川改修事業の中から、今回は西谷田川の整備について紹介いたします。

西谷田川は、つくば市西部の豊里地区から牛久沼（谷田川）までの延長十六・六キロメートルであり、下流は小貝川を経て、利根川に流入する一級河川です。

西谷田川周辺では、つくばエクスプレスが平成十七年に開通したのに伴い、萱丸地区と島名・福田坪地区で、土地区画整理事業が進められ、新たな住宅地が広がっております。このため、つくばエクスプレス沿線地域や下流域における浸水被害の低減を図るため、牛久沼より上流約八・三キロメートル区間において河川整備を行っております。

主な整備内容としては、現況の河道を基本として、川幅を拡大するとともに、築堤や河床の掘削を行い、流下断面を拡大して、洪水を安全に流下できるようにしています。また、川幅を拡げる際に、狭窄部となる橋梁や樋管等の工作物についても、併せて整備を行っております。

また、二枚貝の生息地となっていることから、河道掘削前には調査や移植を行うなど、環境にも配慮しております。

また、二枚貝の生息地となっていることから、河道掘削前には調査や移植を行うなど、環境にも配慮しております。



整備前の市道橋



コンクリート橋架設状況



掘削完了



台船を使用した掘削状況



河道掘削前





【酒沼広浦の浸食対策について】



県中央部にある酒沼は、本県では、霞ヶ浦・北浦に続き、三番目に大きい湖です。酒沼の東部に位置する広浦地区（茨城町下石崎）は、「水戸八景」のひとつ「広浦秋月」として知られていますが、平成二十三年三月十一日の東日本大震災等により、約二十センチメートルの地盤沈下が発生しました。このため、浸食により、湖岸の松林の根が露出するなどの影響が生じたことから、保全対策として、幹の根本付近の保護をするための木柵を整備しました。

平成二十五年度は、茨城町や漁協など地元と協議のうえ、湖岸の養浜（幅約五メートル・延長約百六十メートル）を行い、松林の保護と浸食対策を行いました。



湖岸復元の経過



浸食により松林の根が露出するなどの影響が出ました。

震災後、応急対策として土のうを設置しました。



松林の保護のため、木柵を設置しました。



養浜 約5m

浸食対策として、湖岸を当初より約5m前に養浜を行いました。

こちらのコーナーでは、県内で活躍されている河川愛護団体について、紹介します。

【河川愛護団体紹介】



団体名【川根地区区長会】

川根地区区長会のみなさんは、地元につながる酒沼川の河川環境の整備と河川愛護思想の普及、高揚を目的として設立され、川根地区内の十七行政区が加盟しております。

主な活動内容としては、酒沼川約十キロメートルの堤防除草やゴミの回収、清掃等を各区長が中心となり、地域住民が協力し、長年にわたり実施しております。このような活動が地域のコミュニティ形成につながっております。また、これまでの功績をたたえ、平成十七年に茨城県河川協会長より河川功労者感謝状が贈呈されました。

団体名【五平地区区長会】

五平地区のみなさんは、地元を流れる酒沼前川において、草木が覆い、ゴミの不法投棄などが見受けられたことから、河川環境の保護と河川愛護の高揚を図るため、河川美化活動を行っております。主な活動内容として、酒沼前川約一キロメートル区間の河川敷の除草や雑木の伐採、ゴミ拾いなどを、地域住民が協力し合い、年三回実施しております。また、これまでの功績をたたえ、平成二十二年に茨城県河川協会長より河川功労者感謝状が贈呈されました。

活動状況



ゴミ拾いなどの清掃活動を行っています。

活動状況



堤防の除草やゴミ拾いなどを行っています。

【河川かわら版】

発行 茨城県土木部河川課
〒310-8555 水戸市笠原町978番6
TEL 029-301-4485
HPアドレス



茨城県

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/>

